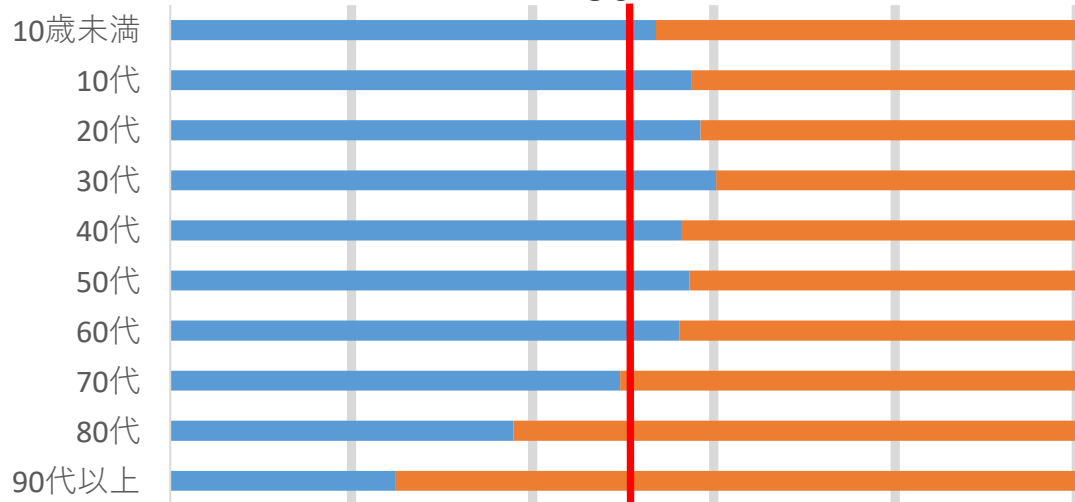


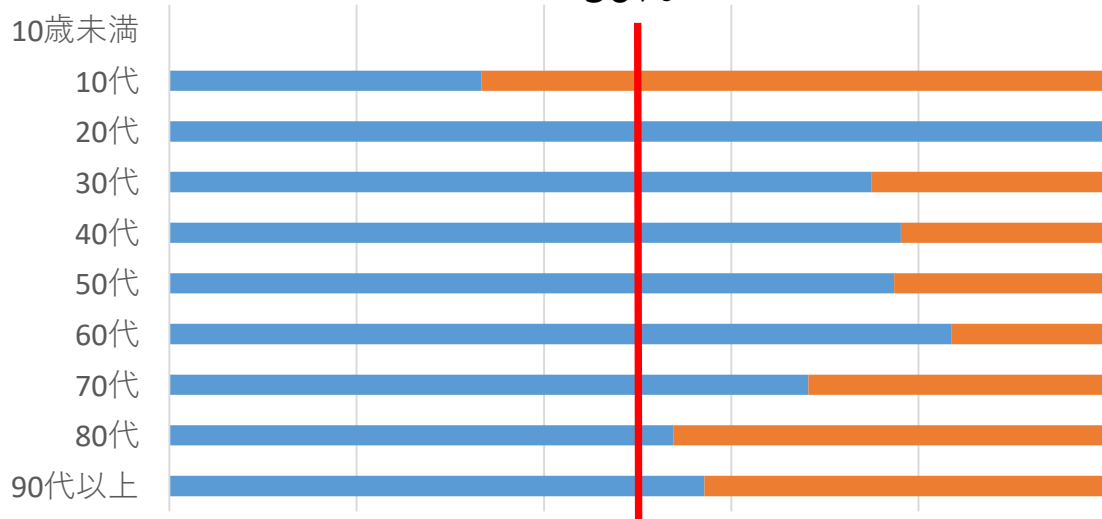
# 県内のコロナ重症患者\*、20代～60代では7割が男性

陽性者の男女比  
50%

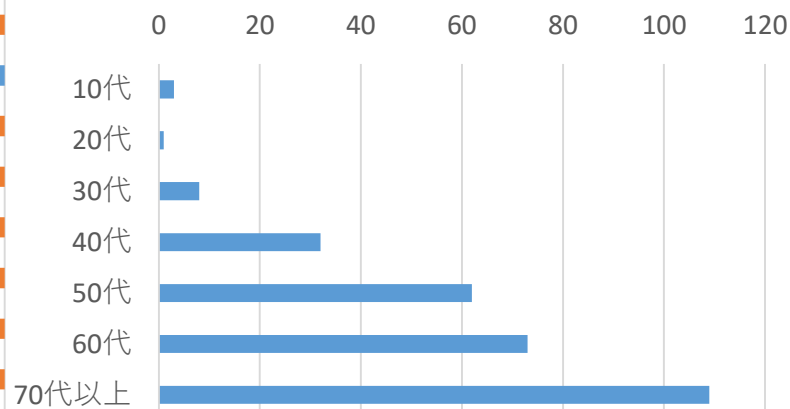


- R2,3～R3,9の間の県内の陽性者の内訳。
- 重症患者は20代以降ではどの年代でも男性の割合が高く、20代から60代では7割が男性であった。
- 第5波で目立ったのは40～50代の重症患者数の増加であった。

重症患者\*の男女比  
50%



年代別の重症患者\*の人数

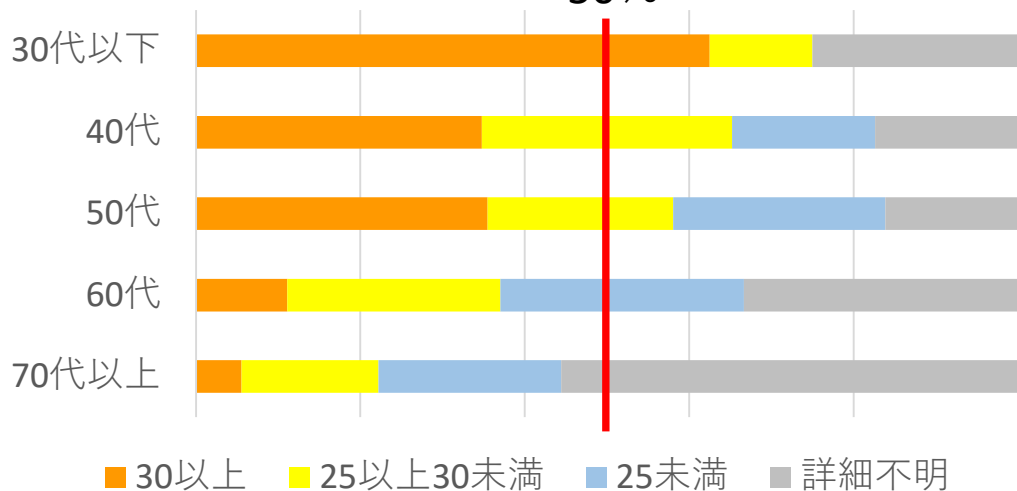


\*人工呼吸器を必要とした患者。

# 50代以下の重症患者は、半数超が肥満傾向

重症患者の年代別のBMI\*\*の比較

50%



\*\*BMIとは、「Body Mass Index」の略で BMI(kg/m<sup>2</sup>)=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で計算される肥満度を表す指標。18歳以上では、25以上が肥満、30以上が高度肥満となる。

## BMIの目安(18歳以上)

年齢	やせ	標準	肥満	高度肥満
18~49	18.5未満	18.5~24.9	25以上	30以上
50~64	20未満	20.0~24.9	//	//
65以上	21.5未満	21.5~24.9	//	//

出典:厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2020年版)」

(R3,7~R3,9の県内の重症患者の内訳)

- 肥満は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高いと言われているが、県内でも重症患者のうち50代以下では、半数超が肥満傾向にある。
- 肥満の患者は、高血圧、糖尿病など他の合併症を有している率が高く、これらも新型コロナウイルス感染症の重症化リスク因子として知られている。
- しかし、とくに30代~50代の男性といったいわゆる働き盛りの世代は、多忙なこともあり、健康診断で問題があっても、医療機関を受診するなどの自分の体を気遣う余裕がなかったり、診断をされていない有病者も少なくない。
- 新型コロナウイルス感染症の重症化を予防するためにも、このような働く世代のワクチン接種が非常に重要であると考えられる。